

別府溝部学園短期大学自己点検・評価について —平成19年度—

田 邊 勲

The Report of the 2007 Self-Study and Evaluation at Beppu Mizobe Gakuen College

Isao Tanabe

1. はじめに

実施までの経過

平成5年1月

自己点検・評価項目の決定(17項目)

委員会発足・自己点検

評価委員会規定の策定

平成11年10月

点検・評価内容の検討

(1) 授業評価(教員の自己評価・学生の評価)

(2) シラバスの作成とその相互評価

(3) 就職関係

(4) 学生募集

点検・評価内容の決定

授業評価(教員の自己評価・学生の評価)

授業評価の実施

1年目の自己点検・評価は平成12年度前期授業について実施した。調査項目の設定や調査の方法、結果の発表等について一部に不安を感じる教職員もいたが、結果的に教員や学生にその意義は十分に理解されたと考える。[調査結果及び分析は、本学紀要第21号('01)に掲載]

さらに2年目以降も1年目とほぼ同様な調査を行った結果、1年目の調査で学生から非常に厳しい評価のついた授業が2年目の調査では肯定的な評価の高い結果が出るなど、自己点検・評価の趣旨は十分に生かされていると判断される[平成12年度後期、平成13年度前期の自己点検・評価の結果及び分析は、本学紀要第22号('02)に掲載]

平成14年度については、別府溝部学園短期大学へ

の校名変更に伴って、別府女子短期大学という校名では最後の自己点検・評価を総括するものとして「平成14年度別府女子短期大学 自己点検・評価報告書」を作成した。内容的には「Ⅰ 本学の概要」「Ⅱ 教育活動」「Ⅲ 特色ある活動と地域とのかかわり」とし、従来の「自己点検・評価」は「Ⅱ 教育活動」の中の1項目として結果及び分析を記載した。

以後は、毎年「自己点検・評価」の結果及び分析を紀要に掲載し、報告することとした。

2. 調査内容及び手続き

平成19年度の「学生による授業評価」は、昨年度導入した「デジタルキャンパス」を利用した新しいシステムでの評価法を継続した。その評価項目についても昨年度と同様10項目で実施した。(表1)教員による自己評価も従来通り11項目で行った。(表2)

表1 学生による点検項目

- | | |
|-----|-------------------|
| Q1 | この授業はわかりやすかった |
| Q2 | 学習内容に興味や関心が持てた |
| Q3 | 学習内容の分量は適切だった |
| Q4 | 教員の教え方に工夫が感じられた |
| Q5 | 教員は熱心に教えていた |
| Q6 | 授業中どの学生にも公平に接していた |
| Q7 | いつも集中して聴けた |
| Q8 | 私語をつつしんだ |
| Q9 | 遅刻、欠席がないよう心がけた |
| Q10 | 意欲的に取り組んだ |

表2 教員による自己点検項目

- Q1 学生は授業を理解した
 Q2 授業の事前準備は、十分おこなった
 Q3 声の大きさ、話し方に留意した
 Q4 学生の興味・関心を喚起するように心がけた
 Q5 各種教材（視聴覚機器・教科書等）を有効に活用した
 Q6 授業の開始・終了時刻を守った
 Q7 授業中どの学生にも公平に接した
 Q8 出欠確認を適切におこなった
 Q9 授業目的を達成した
 Q10 授業要項（シラバス）の記載内容は現状でよい
 Q11 学生のことが理解できた

3. 相互評価

平成12年度以降、長崎県の玉木女子短期大学、奈良県の桜井女子短期大学（現 畿央大学 短期大学部）両大学と相互評価を行ってきた。しかし、桜井女子短期大学については四年制大学になったことを受けて17年度以降は行っていない。現在、本学と同規模の短期大学を相手校として探しているところである。玉木女子短期大学（現 長崎玉成短期大学）とは今後隔年で相互評価を実施する予定にしており、本年度は3月末に長崎玉成短期大学において実施する予定である。

長崎玉成短期大学の自己点検・評価は1・2年生全学生と全職員による授業評価を実施している。調査項目は、a. 出席状況や受講態度の評価 b. 授業に関する評価 c. 総合評価で、その三項目に関して、学生には11項目、教員には14項目について5段階で回答させるとともに、記述式も併用している。

4. 平成19年度授業評価

服飾デザイン学科

a ファッション造形コース（1年）

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは5項目であった。そのうち教員への評価で最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で86%である。一方、学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「遅刻、欠席がないよう心がけた」の項目の92%であり、

教員の熱意と学生の意欲がとてもよくかみ合っていることを示している。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は（④ ⑤合計で10%以上）は6項目で、その中でも「教員の教え方に工夫が感じられた」が15%あったことは今後教員が反省し、ふさわしい授業形態を開発工夫する必要があると考える。学生自身も「いつも集中して聴けた」「私語をつつしんだ」の2項目に関しては低い評価となっていて、自分たちの反省すべき点として自覚している。

前期

学生による授業の自己点検	とてもそう思う	だいたいそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	
Q1 この授業はわかりやすかった	50%	27%	11%	6%	6%	100%
Q2 学習内容に興味や関心を持てた	52%	22%	16%	7%	4%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	50%	29%	9%	8%	4%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	48%	19%	19%	9%	6%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	62%	24%	7%	4%	3%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	67%	17%	7%	5%	4%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	45%	36%	8%	5%	6%	100%
Q8 私語をつつしんだ	53%	25%	12%	9%	2%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	70%	22%	4%	1%	3%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	58%	22%	12%	4%	4%	100%

・後期

前期と比較したとき、めざましい改善が見られた。10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは全項目になった。その中でもポイントが高かった（90%超）項目は「遅刻、欠席がないよう心がけた」93%、と「授業中どの学生にも公平に接していた」92%であった。それに伴い否定的な評価は当然ではあるが5%以下となった。前期、否定的な評価が15%あった「教員の教え方に工夫が感じられた」も肯定的評価が67%から81%となり、否定的な評価は15%から5%と10ポイント改善されている。

後期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	そう 思う	だいたい 思う	言えない どちらとも	あまり 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかり やすかった	44%	39%	14%	2%	2%	100%	
Q 2 学習内容に興味や 関心が持てた	46%	37%	12%	3%	2%	100%	
Q 3 学習内容の分量は 適切だった	39%	46%	9%	3%	2%	100%	
Q 4 教員の教え方に工 夫が感じられた	38%	43%	14%	3%	2%	100%	
Q 5 教員は熱心に教え ていた	64%	25%	9%	0%	2%	100%	
Q 6 授業中どの学生にも 公平に接していた	68%	24%	7%	0%	1%	100%	
Q 7 いつも集中して聴 けた	40%	45%	11%	1%	2%	100%	
Q 8 私語をつつしんだ	56%	31%	8%	2%	2%	100%	
Q 9 遅刻、欠席がないよ う心がけた	65%	28%	5%	2%	1%	100%	
Q 10 意欲的に取り組ん だ	54%	35%	7%	2%	2%	100%	

b ファッション造形コース(2年)

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とても思う」「②だいたい思う」の合計値が80%を超えているのは6項目でその中で最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で93%が肯定的意見である。残念なのは学生の授業への取り組みで80%を超えている項目がないことである。「遅刻、欠席がないよう心がけた」と「意

前期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	そう 思う	だいたい 思う	言えない どちらとも	あまり 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかり やすかった	57%	23%	12%	4%	5%	100%	
Q 2 学習内容に興味や 関心が持てた	61%	24%	7%	5%	3%	100%	
Q 3 学習内容の分量は 適切だった	54%	26%	12%	5%	3%	100%	
Q 4 教員の教え方に工 夫が感じられた	59%	25%	10%	1%	5%	100%	
Q 5 教員は熱心に教 えていた	72%	21%	3%	1%	3%	100%	
Q 6 授業中どの学生に も公平に接していた	75%	13%	7%	3%	2%	100%	
Q 7 いつも集中して聴 けた	46%	27%	16%	8%	3%	100%	
Q 8 私語をつつしんだ	39%	22%	22%	11%	6%	100%	
Q 9 遅刻、欠席がないよ う心がけた	64%	13%	14%	5%	4%	100%	
Q 10 意欲的に取り組ん だ	51%	26%	18%	2%	3%	100%	

欲的に取り組んだ」の2項目が77%となっているが、80%には届いていない。教員の評価項目が全て80%を超えているのと好対照である。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったく思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)は、2項目で、それは肯定的評価が低かった「私語をつつしんだ」(17%)と「いつも集中して聴けた」(11%)となっている。結果としては残念な数字ではあるが、学生は冷静に客観的に評価していることが分かる。

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とても思う」「②だいたい思う」の合計値が80%を超えているのは9項目になり前期に比べると3項目が80%を超えたになったことになり評価が上がったことを示している。1項目「私語をつつしんだ」だけが74%であったがそれでも前期と比較してみると13ポイント上がっている。教員の熱意に応える気持ちと、前期の反省の上に立って自らの学習態度を修正していったことは賞賛に値するとともに、自己点検・評価の意義と捉えることができよう。

後期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	そう 思う	言えない どちらとも	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	65%	18%	9%	4%	4%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	70%	16%	8%	2%	4%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	64%	21%	8%	4%	3%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	66%	17%	11%	4%	3%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	79%	12%	7%	0%	1%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	77%	13%	6%	3%	1%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	59%	22%	11%	4%	3%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	54%	20%	15%	6%	6%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	68%	13%	13%	2%	4%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	71%	12%	13%	2%	2%	100%

c グラフィックデザインコース(1年)

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とても思う」「②だいたい思う」の合計値

が80%を超えているのは6項目で最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」と「授業中どの学生にも公平に接していた」で95%が肯定的意見であった。学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「意欲的に取り組んだ」の項目の86%であるが、「遅刻、欠席がないよう心がけた」では「①とてもそう思う」の評価だけで見ると70%の高い値である。教員の熱意と学生の意欲がとてもよくかみ合っていることを示している。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)は、2項目で、それは肯定的評価が低かった「いつも集中して聴けた」「私語をつつしんだ」でともに10%となっている。全体的な評価としては教員には工夫した授業の中で分かりやすい授業を求めると同時に、自らの反省として私語をせず授業に集中できなかったことを挙げている。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	言えない どちらとも	あまり 思わない そう	まったく 思わない そう	
Q1 この授業はわかりやすかった	49%	30%	11%	5%	4%	100%
Q2 学習内容に興味や関心が持てた	55%	27%	14%	3%	2%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	50%	30%	15%	4%	1%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	47%	31%	19%	2%	2%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	75%	20%	4%	1%	1%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	71%	24%	3%	2%	1%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	41%	33%	16%	8%	2%	100%
Q8 私語をつつしんだ	49%	26%	16%	5%	5%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	70%	13%	10%	7%	1%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	53%	33%	10%	3%	1%	100%

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは7項目になり教員の項目は80%を超えた。そのなかでも前期に続いて「教員は熱心に教えていた」が92%と3ポイントほど下がったものの最も高い評価を得ている。一方最もポイントが下がった項目は「遅刻、欠席がないよう心が

けた」で83%から66%と17ポイントも下がっている。とはいうもののこの項目の否定的評価は前期8%で後期は6%と2ポイントではあるが改善されたという現象が見られた。学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「意欲的に取り組んだ」の項目の81%であった。

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	言えない どちらとも	あまり 思わない そう	まったく 思わない そう	
Q1 この授業はわかりやすかった	51%	31%	10%	7%	1%	100%
Q2 学習内容に興味や関心が持てた	51%	32%	10%	5%	3%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	52%	34%	10%	3%	1%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	47%	36%	12%	3%	2%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	73%	19%	6%	2%	1%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	62%	21%	12%	2%	3%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	48%	28%	17%	6%	2%	100%
Q8 私語をつつしんだ	47%	26%	19%	8%	1%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	49%	17%	28%	4%	2%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	58%	23%	12%	7%	1%	100%

d グラフィックデザインコース(2年)

・前期

大変残念な結果となっている。10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えている項目はなく、一方では否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が全ての項目で10%以上となっている。

肯定的な評価を見てみると、教師に対する評価では「教員は熱心に教えていた」と「授業中どの学生にも公平に接していた」の70%、学生自身の項目では「遅刻、欠席がないよう心がけた」が77%でそれぞれの最高値となっている。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は教師に対する評価では「この授業は分かりやすかった」が23%、学生自身の項目では「私語をつつしんだ」が18%となっている。4人に1人が授業を理解できないために、集中できず私語をする結果になっているのではなからうか。今後、学科内

で検討を行う中で真剣な授業改善に向けての努力が求められる。

前期

学生による授業の自己点検	とても思う	だいたい思う	言えない	どちらとも	思わない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
Q 1 この授業はわかりやすかった	22%	35%	20%	11%	12%	100%	
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	26%	32%	26%	9%	7%	100%	
Q 3 学習内容の分量は適切だった	20%	25%	37%	12%	6%	100%	
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	24%	29%	33%	7%	7%	100%	
Q 5 教員は熱心に教えていた	35%	35%	17%	7%	6%	100%	
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	29%	41%	18%	6%	6%	100%	
Q 7 いつも集中して聴けた	16%	41%	27%	11%	5%	100%	
Q 8 私語をつつしんだ	27%	27%	29%	15%	3%	100%	
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	36%	41%	13%	4%	6%	100%	
Q 10 意欲的に取り組んだ	27%	36%	25%	4%	8%	100%	

・後期

後期も残念ではあるが10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたい思う」の合計値が80%を超えた項目はなかった。ただ、「遅刻、欠席がないよう心がけた」の項目が前期に比べて6ポイント下がって71パーセントになった以外他の9項目に関しては評価が2～15ポイント上がっている。その中でも最もポイントが上がった項目は「学習内容の分量は適切だった」で15ポイントの上昇であった。また「教員は熱心に教えていた」の項目は79%の満足度を示していた。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」については「遅刻、欠席がないよう心がけた」と「教員の教え方に工夫が感じられた」の2項目はさらに評価を下げ、「私語をつつしんだ」は前期と変わらなかったが、他の7項目については改善が見られた。中でも「教員は熱心に教えていた」の項目は5パーセントと8ポイント改善され、その熱心さが分かりやすい授業に繋がり、学生も集中するという好循環を生みつつある。とはいうものの、今後もいっそうの改善努力が必要である。

後期

学生による授業の自己点検	とても思う	だいたい思う	言えない	どちらとも	思わない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
Q 1 この授業はわかりやすかった	31%	36%	18%	8%	7%	100%	
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	35%	30%	20%	8%	6%	100%	
Q 3 学習内容の分量は適切だった	29%	31%	24%	10%	6%	100%	
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	35%	29%	21%	8%	7%	100%	
Q 5 教員は熱心に教えていた	47%	32%	15%	1%	4%	100%	
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	43%	30%	19%	4%	4%	100%	
Q 7 いつも集中して聴けた	30%	36%	28%	3%	4%	100%	
Q 8 私語をつつしんだ	31%	25%	26%	16%	2%	100%	
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	41%	30%	16%	11%	3%	100%	
Q 10 意欲的に取り組んだ	45%	24%	22%	5%	4%	100%	

e 留学生コース(1年)

・前期

否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」は、全項目にわたり0%である。一方、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたい思う」は全項目100パーセントを示していて、理想的な授業が行われていると学生達は評価している。

前期

学生による授業の自己点検	とても思う	だいたい思う	言えない	どちらとも	思わない	あまりそう思わない	まったくそう思わない
Q 1 この授業はわかりやすかった	94%	6%	0%	0%	0%	100%	
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	94%	6%	0%	0%	0%	100%	
Q 3 学習内容の分量は適切だった	100%	0%	0%	0%	0%	100%	
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	100%	0%	0%	0%	0%	100%	
Q 5 教員は熱心に教えていた	94%	6%	0%	0%	0%	100%	
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	94%	0%	6%	0%	0%	100%	
Q 7 いつも集中して聴けた	94%	0%	6%	0%	0%	100%	
Q 8 私語をつつしんだ	89%	6%	6%	0%	0%	100%	
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	100%	0%	0%	0%	0%	100%	
Q 10 意欲的に取り組んだ	94%	6%	0%	0%	0%	100%	

・後期

後期になって多少評価がばらけてきた。10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値は全て80%を超えているが、前期に比べると「あまりそう思わない」が6項目、「まったくそう思わない」に2項目が挙がっている。進度が進むに従って学力差が生じてきたためとも言えるが、可能な限り前期の評価を保つ努力が必要であろう。

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいた いそう 思う	言えな い	どちら とも	あま りそう 思わ ない	ま ったく そう 思わ ない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	95%	0%	0%	5%	0%	0%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	95%	0%	0%	0%	5%	0%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	94%	0%	6%	0%	0%	0%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	95%	0%	0%	5%	0%	0%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	95%	0%	0%	5%	0%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	95%	5%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	95%	0%	0%	0%	5%	0%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	95%	0%	0%	5%	0%	0%	100%

f 留学生コース（2年）

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは7項目で最も高い満足度を示した項目は「教員の教え方に工夫が感じられた」で100パーセントの満足度である。また「教員は熱心に教えていた」「授業中どの学生にも公平に接していた」の2項目も95%が肯定的意見であった。さらに学生の取組の項目の「遅刻、欠席がないよう心がけた」も95%を示した。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は（④ ⑤合計で10%以上）は、3項目で、それは肯定的評価が低かった「この授業は分かりやすかった」と「学習内容に興味や関心が持てた」の2項目で25%、学生の取組の項目の「いつも集中し

て聴けた」が15%となっている。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいた いそう 思う	言えな い	どちら とも	あま りそう 思わ ない	ま ったく そう 思わ ない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	65%	5%	5%	10%	15%	0%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	65%	10%	0%	5%	20%	0%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	63%	21%	11%	0%	5%	0%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	95%	5%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	90%	5%	0%	5%	0%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	95%	0%	0%	0%	5%	0%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	70%	5%	10%	10%	5%	0%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	65%	25%	5%	5%	0%	0%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	90%	5%	0%	5%	0%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	75%	15%	10%	0%	0%	0%	100%

・後期

後期になって改善が見られた。10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは9項目になり前期に比べると2項目増え、80%未満だったのは「私語をつつしんだ」だけになった。その「私語をつつしんだ」の項目は否定的な評価は36%であった。前期はわずか5%であったことから想

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいた いそう 思う	言えな い	どちら とも	あま りそう 思わ ない	ま ったく そう 思わ ない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	82%	12%	6%	0%	0%	0%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	68%	21%	6%	3%	3%	0%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	73%	18%	9%	0%	0%	0%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	91%	3%	3%	3%	0%	0%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	94%	0%	6%	0%	0%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	94%	3%	0%	0%	3%	0%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	74%	24%	0%	3%	0%	0%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	47%	6%	12%	21%	15%	0%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	59%	9%	18%	12%	3%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	71%	18%	6%	6%	0%	0%	100%

像ができない。「遅刻、欠席がないよう心がけた」も前期5%が後期15%になったことと無関係ではない気がする。

食物学科

a 健康栄養コース(1年)

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは5項目で、教員に関する評価で最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で89%が肯定的意見である。学生の自己評価では「遅刻、欠席がないよう心がけた」の項目が95%であるが、「意欲的に取り組んだ」も83%という高い評価になっていて教員の熱意と学生の意欲がとてもよくかみ合っていることを示している。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)は、5項目で、「この授業は分かりやすかった」(16%)「学習内容に興味や関心が持てた」(13%)「学習内容の分量は適切だった」(11%)「教員の教え方に工夫が感じられた」(14%)「いつも集中して聴けた」(12%)で、教員の熱心さは評価するものの授業内容や方法については改善を求めているという結果が読み取れる。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいた い そう 思う	言えな い ど ち ら ど も	思わ な い あ ま り そ う	ま っ た く そ う 思 わ な い	
Q1 この授業はわかりやすかった	49%	21%	14%	7%	9%	100%
Q2 学習内容に興味や関心が持てた	52%	22%	12%	8%	5%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	49%	24%	15%	7%	4%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	46%	23%	16%	8%	6%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	63%	26%	6%	3%	2%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	64%	21%	11%	3%	1%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	45%	30%	13%	8%	4%	100%
Q8 私語をつつしんだ	59%	23%	10%	6%	3%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	89%	6%	2%	1%	2%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	63%	20%	11%	3%	3%	100%

・後期

否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が10%以上の項目がなくなったことが特徴であり改善が進んだことを示している。10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは7項目になり前期に比べると2項目が80%以上になったことになり評価が上がったことを示している。ただ前期否定的評価が10%を超えていた3項目「この授業は分かりやすかった」「学習内容に興味や関心が持てた」「教員の教え方に工夫が感じられた」については肯定的評価が80%を超えることはできなかった。反省すべき点である。

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいた い そう 思う	言えな い ど ち ら ど も	思わ な い あ ま り そ う	ま っ た く そ う 思 わ な い	
Q1 この授業はわかりやすかった	55%	21%	15%	7%	2%	100%
Q2 学習内容に興味や関心が持てた	58%	21%	15%	4%	2%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	55%	26%	16%	2%	1%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	55%	23%	17%	4%	1%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	68%	23%	8%	1%	0%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	64%	24%	10%	1%	1%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	54%	28%	14%	5%	0%	100%
Q8 私語をつつしんだ	67%	21%	10%	2%	0%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	84%	9%	5%	1%	1%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	66%	22%	10%	2%	0%	100%

b 健康栄養コース(2年)

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは5項目で最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で87%であった。学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「私語をつつしんだ」の項目の83%であるが、「遅刻、欠席がないよう心がけた」も「①とてもそう思う」の評価だけで見ると76%の高い値である。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わ

ない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)は、3項目であるがその中で最も高い数値を示したのは「この授業はわかりやすかった」の16%であった。当然満足度も66%と低いことを考えて改善を図ることが必要である。

前期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	そう だいたい 思う	言えない どちらとも	あまり そう 思わない	まったく 思わない	
Q1 この授業はわかりやすかった	43%	23%	18%	11%	5%	100%
Q2 学習内容に興味や関心を持てた	45%	26%	17%	8%	4%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	42%	31%	19%	6%	3%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	45%	27%	18%	6%	4%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	60%	27%	9%	2%	1%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	58%	23%	11%	5%	3%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	42%	31%	17%	6%	3%	100%
Q8 私語をつつしんだ	77%	16%	6%	1%	0%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	76%	16%	7%	1%	0%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	58%	22%	14%	5%	1%	100%

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値

後期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	そう だいたい 思う	言えない どちらとも	あまり そう 思わない	まったく 思わない	
Q1 この授業はわかりやすかった	47%	25%	15%	9%	4%	100%
Q2 学習内容に興味や関心を持てた	51%	24%	16%	5%	3%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	50%	28%	14%	6%	3%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	51%	21%	19%	6%	3%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	60%	27%	10%	2%	1%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	51%	32%	12%	4%	1%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	47%	30%	16%	4%	2%	100%
Q8 私語をつつしんだ	62%	24%	11%	3%	1%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	68%	26%	5%	1%	0%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	58%	27%	13%	2%	0%	100%

が80%を超えているのは5項目でその項目にも変化はないがわずかながら数値は上がっている。前期で改善が必要とされた「この授業はわかりやすかった」の項目について満足度は72%になり6ポイント上がった。否定的な評価も13%で3ポイント改善されたと評価を受けたものの10%を切ることはできなかった。さらなる努力が求められている。全体としてみたとき、前期と後期で大きな変化はなかった。高い次元で変化がないことは望ましいことではあるが、まだまだ改善が求められる中での安定は望ましいものではない。

c 保育栄養コース(1年)

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは3項目で最も高い満足度を示した項目は「遅刻、欠席がないよう心がけた」で95%である。また「教員は熱心に教えていた」も88%が肯定的意見であった。残り1項目の「授業中どの生徒にも公平に接していた」も85%であった。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)は、7項目で、その中で最も高い数値を示したのは「この授業はわかりやすかった」の18%であった。この評価の特徴は「この授業は分かりやすかった」「学習内容に興

前期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	そう だいたい 思う	言えない どちらとも	あまり そう 思わない	まったく 思わない	
Q1 この授業はわかりやすかった	49%	22%	11%	6%	12%	100%
Q2 学習内容に興味や関心を持てた	46%	25%	15%	5%	9%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	47%	24%	12%	7%	9%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	48%	23%	13%	9%	7%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	70%	18%	5%	3%	4%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	67%	18%	7%	4%	4%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	39%	30%	16%	9%	6%	100%
Q8 私語をつつしんだ	44%	24%	15%	8%	8%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	84%	11%	4%	1%	1%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	53%	24%	12%	6%	4%	100%

味や関心が持てた」「学習内容の分量は適切だった」「教員の教え方に工夫が感じられた」の4項目については否定的評価が全て10%を超えていると同時に肯定的評価が全て71パーセントにそろっていることである。もちろん偶然の一致ではあるが、謙虚に反省することが求められる。

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは前期と全く同じ3項目である。変化があったのは否定的評価が前期の7項目から4項目になったことであり、成果は認められるものの、教員の立場から言えば、「この授業は分かりやすかった」「学習内容に興味や関心が持てた」「学習内容の分量は適切だった」「教員の教え方に工夫が感じられた」の4項目については肯定的評価が前期とほとんど変化が認められないことは残念な結果と言える。

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう思う	だいたい そう思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	42%	26%	19%	9%	4%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	46%	27%	15%	8%	3%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	45%	24%	23%	5%	4%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	46%	29%	17%	6%	2%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	61%	27%	8%	3%	1%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	62%	20%	12%	4%	2%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	39%	24%	25%	10%	3%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	41%	24%	18%	12%	5%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	67%	14%	12%	3%	5%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	50%	24%	21%	4%	2%	100%

d 保育栄養コース（2年）

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは2項目で最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で91%が肯定的意見である。残り1項目の「授業中どの学

生にも公平に接していた」が86%であった。残り8項目全てにわたって80%未満であることは残念なことである。学生の指導も含め、具体的に授業の改善に取り組む必要がある。80%には満たないものの、学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「意欲的に取り組んだ」の項目の78%となっている。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は（④ ⑤合計で10%以上）もわずか1項目で、「この授業はわかりやすかった」で、12%となっている。この中で最もポイントが低いのは「教員は熱心に教えていた」と「意欲的に取り組んだ」の2%でありこの点は高く評価できる。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう思う	だいたい そう思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	36%	36%	16%	9%	3%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	38%	38%	18%	4%	3%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	36%	37%	19%	6%	3%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	41%	37%	14%	6%	2%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	65%	26%	7%	2%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	54%	32%	9%	4%	1%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	34%	34%	24%	7%	1%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	45%	27%	23%	5%	0%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	54%	17%	24%	5%	1%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	43%	35%	20%	2%	0%	100%

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは前期と全く同じ2項目である。変化があったのは否定的評価が前期の1項目から2項目になったことで「この授業はわかりやすかった」に代わって「学習内容に興味や関心が持てた」が10%を超え、さらに「いつも集中して聴けた」も10%を超えた。しかし、それらもわずかな数値の変化であり前期と大きな違いはないと考える。教員の立場から言えば、「この授業は分かりやすかった」「学習内容に興味や関心が持てた」「学習内容の分量は適切だった」「教員の教え方に工夫が感じられた」

の4項目については肯定的評価が前期とほとんど変化が認められないことは残念な結果と言える。前にも述べたが、高い次元で変化がないことは望ましいことであるが、まだまだ改善が求められる中での安定は望ましいものではない。

またこのコースで気になることは項目によっては「どちらとも言えない」が25%近くになるものが目立つことである。結果の信頼性にも影響することであり、気をつけて見守る必要があろう。

後期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	だいたい 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	45%	29%	17%	5%	4%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	47%	27%	15%	8%	2%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	45%	27%	22%	4%	2%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	52%	27%	14%	6%	1%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	64%	25%	10%	1%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	57%	25%	11%	6%	1%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	38%	31%	22%	9%	1%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	38%	27%	28%	7%	0%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	56%	19%	17%	8%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	44%	29%	23%	4%	0%	100%

e 医療情報コース（1年）

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とても思う」「②だいたい思う」の合計値が80%を超えているのは3項目で最も高い満足度を示した項目は「遅刻、欠席がないよう心がけた」で98%の高い評価であった。さらに「①とても思う」の評価だけで見ても93%の驚異的な高い値である。次いで「教員は熱心に教えていた」の項目で90%が肯定的意見である。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったく思わない」の合計値が高かった項目は（④ ⑤合計で10%以上）は、7項目で、それは肯定的評価が高かった3項目の裏返しである。その中で最も低い評価となったのは「教員の教え方に工夫が感じられた」（18%）、次いで「この授業はわかりやすかった」（16%）「学習内容に興味や関心

が持てた」（16%）の順になっている。やはり授業に対して学生は分かりやすい授業を求めていることを認識した上で工夫改善を図る必要がある。

前期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	だいたい 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	44%	26%	13%	7%	9%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	47%	24%	13%	8%	8%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	50%	24%	13%	3%	9%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	52%	22%	9%	8%	10%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	72%	18%	2%	4%	3%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	64%	19%	8%	3%	6%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	42%	29%	14%	10%	5%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	47%	26%	15%	9%	3%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	93%	5%	1%	1%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	60%	19%	10%	7%	3%	100%

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とても思う」「②だいたい思う」の合計値が80%を超えているのは2項目になり、前期80%を超えていた「授業中どの学生にも公平に接していた」が77%になった。

後期

学生による授業の 自己点検	とても 思う	だいたい 思う	どちらとも 言えない	あまり 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	43%	23%	18%	10%	5%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	45%	23%	19%	8%	5%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	45%	30%	15%	7%	3%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	45%	28%	12%	9%	5%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	56%	25%	9%	8%	2%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	52%	25%	11%	6%	7%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	43%	29%	17%	7%	4%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	57%	21%	10%	9%	2%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	87%	6%	5%	2%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	58%	19%	18%	4%	2%	100%

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)は、8項目になって教員に関わる項目は全て10%を超えている。特に「この授業はわかりやすかった」は15%の高い数値になっている。

f 医療情報コース(2年)

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは2項目でその項目は「教員は熱心に教えていた」「遅刻、欠席がないよう心がけた」でともに80%であった。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)は、7項目で、その中で最も低い評価となったのは「学習内容に興味や関心が持てた」(18%)「この授業はわかりやすかった」(17%)「次いで教員の教え方に工夫が感じられた」(16%)の順になっている。授業に対して学生は分かりやすい授業を求めていることを認識した上で工夫改善を図る必要がある。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいた い そう 思う	言え ない	どちら とも	あま り そ う 思 わ ない	ま っ た く そ う 思 わ ない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	42%	25%	15%	8%	9%	100%	
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	37%	29%	15%	6%	12%	100%	
Q 3 学習内容の分量は適切だった	45%	29%	14%	6%	5%	100%	
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	43%	28%	13%	11%	5%	100%	
Q 5 教員は熱心に教えていた	60%	20%	14%	2%	4%	100%	
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	58%	21%	11%	5%	4%	100%	
Q 7 いつも集中して聴けた	37%	25%	22%	8%	7%	100%	
Q 8 私語をつつしんだ	38%	26%	22%	8%	5%	100%	
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	43%	37%	15%	1%	3%	100%	
Q 10 意欲的に取り組んだ	37%	34%	16%	5%	7%	100%	

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値

が80%を超えている項目は「遅刻、欠席がないよう心がけた」(80%)の1項目であった。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)9項目であった。その中でも最も低い評価となったのは「この授業はわかりやすかった」(26%)、次いで「学習内容に興味や関心が持てた」(25%)「教員の教え方に工夫が感じられた」(25%)となっている。学生の4人に1人がこのような感想を持っていることに対して真摯に受け止め、最大の努力を払い、今後学生の求めている分かりやすい授業をいかに実践していくか、工夫改善を図らなければならない。

後期

学生による授業の 自己点検	そう とも 思う	だ い た い そ う 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い	
Q 1 この授業はわかりやすかった	39%	21%	13%	10%	16%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	38%	22%	14%	11%	14%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	45%	23%	15%	5%	11%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	44%	12%	18%	10%	15%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	44%	21%	20%	2%	13%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	51%	18%	18%	4%	9%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	36%	31%	18%	4%	10%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	47%	21%	16%	7%	8%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	66%	14%	10%	5%	4%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	44%	31%	14%	5%	6%	100%

g 留学生コース(1年)

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは9項目でそのうちの8項目で90パーセントを超えた肯定的意見である。残り1項目の「授業中どの生徒にも公平に接していた」も78%であった。学生の授業への取り組み項目は全て93%である。教員の熱意と学生の意欲がとてもよくかみ合っていることを示している。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)はない。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう思う	だいたい そう思う	言えない	どちらとも 思わない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	
Q1 この授業はわかりやすかった	79%	14%	7%	0%	0%	0%	100%
Q2 学習内容に興味や関心が持てた	79%	14%	7%	0%	0%	0%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	79%	14%	7%	0%	0%	0%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	64%	21%	14%	0%	0%	0%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	64%	29%	7%	0%	0%	0%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	64%	14%	14%	7%	0%	0%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	93%	0%	7%	0%	0%	0%	100%
Q8 私語をつつしんだ	93%	0%	7%	0%	0%	0%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	79%	14%	7%	0%	0%	0%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	79%	14%	7%	0%	0%	0%	100%

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えている全ての項目で、その上さらにその全ての項目が「①とてもそう思う」で90パーセントを超えた肯定的意見となっている。後期になってこのように評価が上がることはとても好ましいことで、教員学生ともに充実した授業となっている。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わ

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう思う	だいたい そう思う	言えない	どちらとも 思わない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	
Q1 この授業はわかりやすかった	93%	2%	0%	4%	2%	0%	100%
Q2 学習内容に興味や関心が持てた	91%	4%	2%	2%	2%	0%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	93%	0%	2%	4%	2%	0%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	91%	6%	0%	2%	2%	0%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	93%	4%	2%	0%	2%	0%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	96%	2%	0%	0%	2%	0%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	93%	6%	0%	0%	2%	0%	100%
Q8 私語をつつしんだ	93%	6%	0%	0%	2%	0%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	96%	2%	0%	0%	2%	0%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	94%	4%	0%	0%	2%	0%	100%

ない」「⑤まったくそう思わない」の項目で10%を超えたものはなかったが全項目にわたって数%の評価が見られるようになっている。

h 留学生コース（2年）

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは全項目で、その中でも「学習内容の分量は適切だった」「教員の教え方に工夫が感じられた」「いつも集中して聴けた」「意欲的に取り組んだ」「私語を慎んだ」の各項目で、「①とてもそう思う」の評価で100%であった。教員の熱意と学生の意欲がとてもよくかみ合っていることを示している。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」は全て0%である。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう思う	だいたい そう思う	言えない	どちらとも 思わない	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない	
Q1 この授業はわかりやすかった	89%	11%	0%	0%	0%	0%	100%
Q2 学習内容に興味や関心が持てた	89%	11%	0%	0%	0%	0%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	89%	11%	0%	0%	0%	0%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	89%	0%	11%	0%	0%	0%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q8 私語をつつしんだ	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	89%	11%	0%	0%	0%	0%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

・後期

10の調査項目のうち、最も高い評価にあたる「①とてもそう思う」が100%をでなかったのは「この授業は分かりやすかった」と「教員の教え方に工夫が感じられた」のわずか2項目でその2項目も92%の高い評価を得ている。当然否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」は全て0%である。教員の熱意と学生の意欲がとてもよくかみ合っていることを示している。

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	言えない	どちらとも 思わない	あまりそう 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	92%	8%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	92%	8%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

幼児教育学科

a 1年

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは5項目で、その中で、教員に関する項目では「教員は熱心に教えていた」で89%、学生に関する項目では「遅刻、欠席がないよう心がけた」が96%で最も高い評価となっている。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	言えない	どちらとも 思わない	あまりそう 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	49%	30%	12%	6%	3%	0%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	54%	25%	13%	6%	2%	0%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	52%	29%	12%	5%	2%	0%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	48%	29%	13%	7%	3%	0%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	70%	19%	8%	2%	1%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	64%	21%	10%	3%	1%	0%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	46%	27%	16%	7%	3%	0%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	54%	23%	12%	7%	5%	0%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	88%	8%	3%	1%	0%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	57%	26%	12%	4%	1%	0%	100%

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」で10%を超えた項目は「私語をつつしんだ」12%、「教員の教え方に工夫が感じられた」10%、「いつも集中して聴けた」10%であった。

・後期

前期に比べて劇的に評価が上がっている。10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値は全ての項目で80%を超えた。その中でも最もポイントが高かった項目は、教員に関するものでは「教員は熱心に教えていた」の91%で、学生に関する項目では「遅刻、欠席がないよう心がけた」で89%となっている。

一方で、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」で10%を超えた項目はなくなった。前期10%を超えた「私語をつつしんだ」は4%へ、「教員の教え方に工夫が感じられた」は2%へ、「いつも集中して聴けた」も4%となっている。

授業法の改善と自覚がうまくかみ合って高い評価になったものと考えられる。

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	言えない	どちらとも 思わない	あまりそう 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	67%	20%	10%	2%	1%	0%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	67%	19%	11%	2%	1%	0%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	66%	20%	11%	2%	1%	0%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	67%	20%	10%	1%	1%	0%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	76%	15%	8%	0%	1%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	72%	16%	10%	1%	1%	0%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	61%	21%	15%	3%	1%	0%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	61%	20%	14%	3%	1%	0%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	80%	9%	10%	1%	1%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	71%	14%	13%	1%	1%	0%	100%

b 2年

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①

とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは8項目で最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で96%が肯定的意見である。80%を超えなかった残り2項目の「私語をつつしんだ」も76%、「いつも集中して聴けた」も75%であった。学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「遅刻、欠席がないよう心がけた」で89%であるが、この項目は「①とてもそう思う」の評価だけでも74%の高い値である。教員の熱意と学生の意欲がとてもよくかみ合っていることを示している。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)はないが、「いつも集中して聴けた」「私語をつつしんだ」の2項目は9%である。学生の自覚を待ちたい。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	まったく 思 わ ない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	50%	30%	12%	7%	1%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	57%	27%	11%	5%	1%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	50%	31%	14%	4%	1%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	57%	28%	11%	3%	1%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	76%	20%	4%	1%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	72%	18%	6%	2%	1%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	35%	40%	16%	8%	1%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	38%	35%	18%	6%	3%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	74%	15%	7%	4%	0%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	55%	28%	12%	4%	0%	100%

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは8項目で前期と同じ結果であり、80%を超えなかった残り2項目も「私語を慎んだ」も73%、「いつも集中して聴けた」も75%で前期とほぼ同じ結果となっている。最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で96%が肯定的意見である。学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「遅刻、欠席がないよう心がけた」

で89%であり、「①とてもそう思う」の評価だけで見ると74%の高い値であり、前期と同じになっている。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)はないが、前期ポイントが高かった「いつも集中して聴けた」「私語をつつしんだ」の2項目はそれぞれ4%、5%へと改善されている。

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	まったく 思 わ ない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	51%	34%	12%	3%	0%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	58%	30%	10%	2%	0%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	54%	31%	13%	2%	0%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	65%	25%	9%	1%	0%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	81%	15%	3%	1%	0%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	74%	21%	4%	1%	0%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	40%	35%	21%	4%	0%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	41%	32%	21%	5%	1%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	77%	14%	5%	3%	0%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	52%	32%	14%	1%	0%	100%

介護福祉学科

a 1年

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは5項目で、最も高い満足度を示した項目は学生の取り組みでは「遅刻、欠席がないよう心がけた」で95%が肯定的意見となっており、教員の項目では「教員は熱心に教えていた」で87%が肯定的意見である。また、「①とてもそう思う」の評価だけで見ると「遅刻、欠席がないよう心がけた」は79%の高い値である。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は(④ ⑤合計で10%以上)はないが、「私語をつつしんだ」の項目が9%となっている。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	38%	40%	15%	5%	3%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	42%	38%	15%	3%	2%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	37%	38%	19%	4%	2%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	40%	39%	14%	4%	2%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	57%	30%	10%	3%	1%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	45%	36%	14%	4%	1%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	35%	40%	19%	4%	2%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	39%	35%	18%	8%	1%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	79%	15%	5%	2%	0%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	53%	32%	12%	2%	0%	100%

・後期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは7項目になり前期に比べると2項目が80%以上になったことになり評価が上がったことを示している。最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で86%が肯定的意見である。80%を超えなかった残り3項目の「教員の教え方に工夫が感じられた」も79%、「いつ

後期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	55%	25%	14%	4%	2%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	52%	26%	16%	4%	2%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	50%	30%	15%	4%	2%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	51%	28%	15%	5%	2%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	63%	23%	11%	2%	1%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	56%	26%	13%	3%	1%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	47%	31%	16%	5%	2%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	52%	28%	14%	5%	1%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	73%	15%	10%	2%	1%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	56%	29%	12%	2%	0%	100%

も集中して聴けた」も78%、「学習内容に興味や関心が持てた」も78%であり低い評価ではない。学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「遅刻、欠席がないよう心がけた」で88%であるが、「①とてもそう思う」の評価だけで見ても73%の高い値である。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高い項目は（④ ⑤合計で10%以上）はない。

b 2年

・前期

10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは6項目で、最も高い満足度を示した項目は学生の取り組みでは「遅刻、欠席がないよう心がけた」で85%が肯定的意見となっており、教員の項目では「教員は熱心に教えていた」で88%が肯定的意見である。また、「①とてもそう思う」の評価だけで見ると「教員は熱心に教えていた」が73%の高い値である。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は（④ ⑤合計で10%以上）は、わずか1項目で、それは肯定的評価が低かった「いつも集中して聴けた」で、11%となっている。

前期

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	だいたい そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	まったく 思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	51%	29%	12%	4%	4%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	50%	28%	14%	4%	4%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	52%	27%	15%	4%	2%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	61%	22%	10%	5%	3%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	73%	15%	7%	3%	2%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	66%	19%	10%	2%	3%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	48%	27%	14%	6%	5%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	58%	22%	12%	4%	4%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	69%	18%	10%	3%	1%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	54%	24%	15%	4%	3%	100%

・後期

全体的に前期に比べて後期に評価が上がる傾向の中、多少評価が下がりぎみであることが気がりである。10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは4項目になり前期に比べると項目の変化はあるが、2項目が80%未満に加わったことになり評価が下がったことを示している。その中でも最もポイントが下がった項目は「私語をつつしんだ」で80%から75%と5ポイント下がっている。最も高い満足度を示した項目は「教員は熱心に教えていた」で84%が肯定的意見である。学生の授業への取り組みでの最高値を示したのは「遅刻、欠席がないよう心がけた」の項目の83%である。

一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は（④ ⑤合計で10%以上）がなくなったことは評価される。その中で、「学習内容に興味や関心が持てた」については9%が否定的評価を行っている。教員の授業の改善と学生の自覚がうまく組み合って高い評価になったものと考えられる。

後期

学生による授業の自己点検	とてもそう思う	だいたいそう思う	言えない	どちらとも思わない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	
Q 1 この授業はわかりやすかった	49%	29%	15%	4%	4%	4%	100%
Q 2 学習内容に興味や関心が持てた	43%	32%	16%	5%	4%	4%	100%
Q 3 学習内容の分量は適切だった	51%	29%	14%	4%	3%	3%	100%
Q 4 教員の教え方に工夫が感じられた	53%	28%	12%	4%	4%	4%	100%
Q 5 教員は熱心に教えていた	60%	24%	11%	2%	3%	3%	100%
Q 6 授業中どの学生にも公平に接していた	54%	23%	16%	5%	3%	3%	100%
Q 7 いつも集中して聴けた	48%	30%	16%	2%	3%	3%	100%
Q 8 私語をつつしんだ	47%	28%	18%	3%	4%	4%	100%
Q 9 遅刻、欠席がないよう心がけた	64%	19%	13%	3%	1%	1%	100%
Q 10 意欲的に取り組んだ	52%	26%	17%	3%	2%	2%	100%

5. 調査結果の傾向（平均から見た傾向）

・前期

全学生の平均で見たとき、10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えているのは

4項目で、最も高い満足度を示した項目は学生の取り組みでは「遅刻、欠席がないよう心がけた」で91%が肯定的意見となっており、教員の項目では「教員は熱心に教えていた」で89%が肯定的意見である。学生の積極的な学習への姿勢と教員の熱意とがうまく組み合った結果が伺える。80%を超えていない残りの6項目についても75%をほぼ超えていて、満足度は高い結果と評価される。また、「①とてもそう思う」の評価だけで見ても「遅刻、欠席がないよう心がけた」が77%の高い値であることは学生の意識を高く評価してよいと思う。一方、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」の合計値が高かった項目は（④ ⑤合計で10%以上）は、3項目で、最も値が高かった項目は「この授業は分かりやすかった」の11%で、残りの2項目「教員の教え方に工夫が感じられた」「いつも集中して聴けた」はともに10%であった。学習内容の質を保ちながらも分かりやすい授業を工夫することで学生も授業に集中できる環境作りが望まれる。

全学生（前期）

学生による授業の 自己点検	とても そう 思う	そう 思う	だいたい 思う	言え ない	どちら とも	あまり そう 思わ ない	ま った く そ う 思 わ な い	
Q 1 この授業はわかり やすかった	47%	29%	13%	6%	5%	100%		
Q 2 学習内容に興味や 関心が持てた	50%	27%	14%	5%	4%	100%		
Q 3 学習内容の分量は 適切だった	48%	29%	15%	5%	3%	100%		
Q 4 教員の教え方に工 夫が感じられた	49%	28%	14%	6%	4%	100%		
Q 5 教員は熱心に教え ていた	67%	22%	7%	2%	1%	100%		
Q 6 授業中どの学生にも 公平に接していた	63%	22%	9%	3%	2%	100%		
Q 7 いつも集中して聴 けた	41%	32%	16%	7%	3%	100%		
Q 8 私語をつつしんだ	50%	26%	14%	6%	3%	100%		
Q 9 遅刻、欠席がないよ う心がけた	77%	14%	7%	2%	1%	100%		
Q 10 意欲的に取り組ん だ	55%	26%	13%	4%	2%	100%		

・後期

前期に比べて評価が上がっていることは喜ばしい。10の調査項目のうち、肯定的な評価にあたる「①とてもそう思う」「②だいたいそう思う」の合計値が80%を超えた項目が前期の4項目から7項目になった。その中でも最もポイントが高かった項目は、

教員に関するものでは「教員は熱心に教えていた」の88%で、学生に関する項目では「遅刻、欠席がないよう心がけた」で87%となっている。80%を超えていない残りの3項目についても「この授業は分かりやすかった」79%、「いつも集中して聴けた」77%、「私語をつつしんだ」77%となっていて高い満足度を示している。

一方で、否定的な評価にあたる「④あまりそう思わない」「⑤まったくそう思わない」で10%を超えた項目はなくなった。教員の授業の改善と学生の自覚がうまくかみ合って高い評価になったものと考えられる。前期10%を超えた、「教員の教え方に工夫が感じられた」は6%、「いつも集中して聴けた」も6%となっている。「この授業は分かりやすかった」も8%となつてはいるが否定的意見の中ではやはり一番高い結果となっている。安易に教える内容を低くすることで分かりやすい授業にすることは避けなければならないが、教授法の改善によって学生が興味を持つ授業の実践は可能であろう。FDなどを積極的に推し進めることが改善に繋がるものと考えられる。

全学生(後期)

学生による授業の自己点検	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	思わない	まったく思わない	
Q1 この授業はわかりやすかった	53%	26%	13%	5%	3%	100%
Q2 学習内容に興味や関心が持てた	55%	25%	13%	4%	2%	100%
Q3 学習内容の分量は適切だった	53%	27%	14%	4%	2%	100%
Q4 教員の教え方に工夫が感じられた	56%	25%	13%	4%	2%	100%
Q5 教員は熱心に教えていた	68%	20%	8%	2%	1%	100%
Q6 授業中どの学生にも公平に接していた	64%	22%	10%	3%	2%	100%
Q7 いつも集中して聴けた	48%	29%	17%	4%	2%	100%
Q8 私語をつつしんだ	52%	25%	16%	5%	2%	100%
Q9 遅刻、欠席がないよう心がけた	72%	15%	9%	3%	1%	100%
Q10 意欲的に取り組んだ	58%	24%	14%	2%	1%	100%

6. 調査結果の傾向(学科別に見た傾向)

・前期

全学科を通して全般的な傾向を見たとき、学生に関する項目において実に明確な傾向が見て取れる。それは学習への意欲は強く持ちながら(Q9とQ10)受講態度がその意欲に伴わない(Q7とQ8)とい

う点である。これは授業者の問題なのか、受講者の問題なのかを追究し早急に対策を講じる必要がある。また、教員に関する項目で見たとき、授業に臨む教員の姿勢(Q4・Q5とQ6)は各学科ともに高く評価している。一方で授業の内容に関する項目(Q1・Q2とQ3)に対しては、学科間で差が見受けられる。特に目立つことは、服飾デザイン学科と食物学科において学習内容に関する項目の満足度が低い点である。ともに肯定的評価は80%に満たず、逆に否定的評価は学習内容に関する項目のほぼ全項目において10%を超えている。また、幼児教育学科に関しては肯定的評価では8割の項目に関して高い評価がなされているが、残念ながら自らの受講態度については低い評価を与えている。今後の課題として解決を目指したい。介護福祉学科の最大の特徴は否定的評価において10%以上の項目がないということである。肯定的評価においても全項目75%を超えていて満足度の高い評価がなされている。

・後期

本学の特徴であるが、後期になるとこの授業評価の値が高くなることはとても好ましいことである。特に否定的項目で10%を超える数が激減する。本年度も前期においては12項目であったものが、後期では3項目になっている。それでも学生の受講態度に関する項目では否定的評価が改善されていることは喜ばしいが、肯定的評価に大きな改善が見えないことは残念であり、学生の自覚はもちろんであるが、教員の指導にも課題を残している。食物学科において授業の内容に関する項目のうちQ1とQ2で否定的評価が高くなっている点については、本学を志望する学生は多くの場合文系に属していることから理学的な内容が含まれる食物学科の授業にとまどいがあるかと考える。しかし、それはそれとして必要な内容をわかりやすく丁寧に興味を持たせる授業実践に学科として取り組むことが必要であろう。

全体を通じて言えることであるが「どちらとも言えない」の項目のパーセンテージが低いことはこの調査の信頼性を示すものといえる。

平成19年度学生による授業評価

評価項目は次の10項目である。

- Q1 この授業はわかりやすかった
 Q2 学習内容に興味や関心が持てた
 Q3 学習内容の分量は適切だった
 Q4 教員の教え方に工夫が感じられた
 Q5 教員は熱心に教えていた
 Q6 授業中どの学生にも公平に接していた
 Q7 いつも集中して聴けた
 Q8 私語をつつしんだ
 Q9 遅刻・欠席がないよう心がけた
 Q10 意欲的に取り組んだ

評価は次の5段階である。

1 とてもそう思う	肯定的評価
2 だいたいそう思う	
3 どちらとも言えない	否定的評価
4 あまりそう思わない	
5 まったくそう思わない	

前期

	1 + 2 [肯定的評価]					3					4 + 5 [否定的評価]				
	服飾	食物	幼教	介護	平均	服飾	食物	幼教	介護	平均	服飾	食物	幼教	介護	平均
Q1	74%	70%	79%	79%	76%	13%	15%	12%	14%	13%	13%	15%	9%	8%	11%
Q2	76%	73%	81%	79%	77%	15%	14%	12%	14%	14%	10%	12%	7%	6%	9%
Q3	73%	74%	81%	77%	76%	17%	15%	13%	18%	16%	10%	11%	6%	6%	8%
Q4	73%	73%	81%	81%	77%	19%	14%	12%	13%	14%	9%	13%	7%	7%	9%
Q5	87%	89%	92%	87%	89%	7%	6%	6%	9%	7%	6%	5%	2%	4%	4%
Q6	85%	84%	88%	83%	85%	8%	9%	8%	12%	9%	7%	7%	4%	5%	6%
Q7	72%	72%	74%	75%	73%	16%	16%	16%	17%	16%	12%	12%	10%	8%	10%
Q8	69%	79%	75%	76%	75%	19%	13%	15%	15%	15%	13%	8%	11%	8%	10%
Q9	83%	91%	93%	90%	89%	10%	7%	5%	7%	7%	8%	2%	3%	3%	4%
Q10	78%	80%	83%	83%	81%	15%	13%	12%	13%	13%	7%	7%	5%	4%	6%

後期

	1 + 2 [肯定的評価]					3					4 + 5 [否定的評価]				
	服飾	食物	幼教	介護	平均	服飾	食物	幼教	介護	平均	服飾	食物	幼教	介護	平均
Q1	80%	72%	86%	79%	79%	12%	15%	11%	14%	13%	8%	13%	3%	7%	8%
Q2	79%	74%	87%	77%	79%	12%	15%	10%	16%	13%	9%	10%	3%	7%	7%
Q3	80%	76%	85%	80%	80%	13%	17%	12%	14%	14%	7%	7%	3%	6%	6%
Q4	79%	75%	89%	79%	80%	14%	15%	9%	14%	13%	8%	9%	2%	7%	6%
Q5	89%	87%	94%	85%	89%	9%	9%	5%	11%	9%	3%	4%	1%	4%	3%
Q6	85%	83%	91%	81%	85%	10%	11%	7%	14%	11%	5%	6%	2%	5%	4%
Q7	78%	74%	78%	78%	77%	16%	17%	18%	16%	17%	6%	9%	4%	6%	6%
Q8	71%	78%	77%	79%	76%	17%	14%	18%	15%	16%	12%	8%	5%	6%	8%
Q9	77%	88%	90%	86%	85%	16%	8%	7%	11%	10%	7%	4%	3%	3%	4%
Q10	81%	80%	85%	83%	82%	13%	15%	13%	14%	14%	6%	4%	2%	3%	4%